

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成21年5月28日(2009.5.28)

【公開番号】特開2006-308594(P2006-308594A)

【公開日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【年通号数】公開・登録公報2006-044

【出願番号】特願2006-123291(P2006-123291)

【国際特許分類】

G 01 B 9/02 (2006.01)

【F I】

G 01 B 9/02

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月6日(2009.4.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の入力面及び第1の出力面を有する第1の入力長斜方形サブアセンブリであって、第1の振幅分割無偏光界面が内部に配置される、第1の入力長斜方形サブアセンブリと、

第2の入力面及び第2の出力面を有する第2の入力長斜方形サブアセンブリであって、第2の振幅分割無偏光界面が内部に配置される、第2の入力長斜方形サブアセンブリと、

少なくとも第1の面、第2の面、及び第3の面を有し、且つ、内部に配置される偏光ビームスプリッタ界面を有する、偏光ビームスプリッタサブアセンブリと、
を備え、

前記第1の入力長斜方形サブアセンブリの前記第1の出力面は、前記偏光ビームスプリッタサブアセンブリの前記第1の面に取り付けられ、前記第2の入力長斜方形サブアセンブリの前記第2の出力面は、前記偏光ビームスプリッタサブアセンブリの前記第2の面に取り付けられ、前記第1及び第2の入力長斜方形サブアセンブリならびに前記偏光ビームスプリッタサブアセンブリは、第1の周波数を有する第1のビーム及び第2の周波数を有する第2のビームが、空間的に分離された状態で、それぞれ前記第1の入力面及び前記第2の入力面を通じて前記干渉計アセンブリに入ることを可能にするように構成され、且つ、互いに取り付けられ、前記第1の振幅分割無偏光界面及び前記第2の振幅分割無偏光界面は、前記第1のビーム及び前記第2のビームをそれぞれ分割する、干渉計アセンブリ。

【請求項2】

第1の入力面を有する第1の4分の1波長板をさらに備えている、請求項1に記載の干渉計アセンブリ。

【請求項3】

前記第1の4分の1波長板の前記第1の入力面が、前記偏光ビームスプリッタサブアセンブリの前記第3の面に取り付けられている、請求項2に記載の干渉計アセンブリ。

【請求項4】

第2の入力面を有する第2の4分の1波長板をさらに備えている、請求項1に記載の干渉計アセンブリ。

【請求項5】

シングルパス干渉計として動作するように構成されている、請求項1に記載の干渉計アセンブリ。

【請求項 6】

デュアルパス干渉計として動作するように構成されている、請求項 1 に記載の干渉計アセンブリ。

【請求項 7】

3つ以上の光軸を有する干渉計として動作するように構成されている、請求項 1 に記載の干渉計アセンブリ。

【請求項 8】

測定ビーム及び基準ビームのうちの少なくとも1つを反射するための少なくとも1つのキューブコーナーをさらに備えている、請求項 1 に記載の干渉計アセンブリ。

【請求項 9】

干渉計アセンブリを作製する方法であって、

第1の入力面及び第1の出力面を有する第1の入力長斜方形サブアセンブリを設けるステップであって、第1の振幅分割無偏光界面が前記第1の入力長斜方形サブアセンブリ内に配置される、ステップと、

第2の入力面及び第2の出力面を有する第2の入力長斜方形サブアセンブリを設けるステップであって、第2の振幅分割無偏光界面が前記第2の入力長斜方形サブアセンブリ内に配置される、ステップと、

少なくとも第1の面、第2の面、及び第3の面を有し、且つ、内部に配置された偏光ビームスプリッタ界面を有する、偏光ビームスプリッタサブアセンブリを設けるステップと、

前記第1の入力長斜方形サブアセンブリの前記第1の出力面を前記偏光ビームスプリッタサブアセンブリの前記第1の面に直接取り付けるステップと、

前記第2の入力長斜方形サブアセンブリの前記第2の出力面を前記偏光ビームスプリッタサブアセンブリの前記第2の面に直接取り付けるステップと、

を含み、

前記第1及び第2の入力長斜方形サブアセンブリ及び前記偏光ビームスプリッタサブアセンブリは、第1の周波数を有する第1のビーム及び第2の周波数を有する第2のビームが、空間的に分離された状態で、それぞれ前記第1の入力面及び前記第2の入力面を通して前記干渉計アセンブリに入ることを可能にするように構成され、且つ、互いに取り付けられ、前記第1の振幅分割無偏光界面及び前記第2の振幅分割無偏光界面は、前記第1のビーム及び前記第2のビームをそれぞれ分割するように構成される、方法。